

|       |                    |         |         |      |     |
|-------|--------------------|---------|---------|------|-----|
| 科目名   | 特殊講義（文学からみた北海道・東北） | 科目コード   | 1547    | 単位数  | 2   |
| 担当者名  | 保坂 智               | 開講セメスター | 第3セメスター | 開講年次 | 2年次 |
| 授業の方法 | 講義                 | 実務経験    | 無       |      |     |

● 授業のねらい

北海道・東北の情景がどのように文章や映像として表現されているかを概観し、文学的イメージがどのように形成されていくのかを探る。北海道にゆかりの「名前は聞いたことあるけれど、読んだことがない作家」の作品を実際に読み味わう。

● 到達目標

- ・北海道・東北の地が文学作品においてどのように形象化されているかを理解する。
- ・北海道ゆかりの作家と作品について説明できる。
- ・文学作品の風景と心情とイメージ形成の関わりを説明できる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス
- 2週目 風景と心情
- 3週目 アイヌ文学
- 4週目 国木田独歩
- 5週目 有島武郎
- 6週目 石川啄木（詩歌）＋第1回試験
- 7週目 石川啄木（散文）
- 8週目 北海道文学館見学
- 9週目 小林多喜二（田口タキとのかかわり）
- 10週目 小林多喜二（『蟹工船』）
- 11週目 小林多喜二（小説・漫画・映画の比較）
- 12週目 伊藤整（多喜二・小樽とのかかわり）
- 13週目 伊藤整（りんごの文学誌）
- 14週目 太宰治 生涯
- 15週目 太宰治（『黄金風景』）＋第2回試験
- 16週目 課題に対するフィードバックを実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

次回講義日までに、講義プリントや扱う作品をCourse Powerに公開するので、あらかじめ確認してから講義に臨む。講義後は、配布された参考資料やプリントを復習し、理解に努める。

● 成績評価の方法・基準

試験を2回、レポートを1回課す。試験50%、レポート30%、講義へのコミットメントは20%として評価する。なお、出席回数が3分の2に満たない場合は評価の対象としない。

● 履修上の留意点

北海道文学館へのフィールドワークを一回行う予定。入館料は自己負担(400円程度)。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートにコメントをつけてフィードバックを行う。

● テキスト

特になし

● 参考書

『啄木歌集』『蟹工船』はどの出版社の文庫でもよいので、読んでおくこと。必要に応じて適宜CoursePower上で紹介する。

● 更新日付

2020/01/28 03:16